

平成 27 年国勢調査抽出速報集計結果の概要について

平成 28 年 6 月 29 日に平成 27 年国勢調査抽出速報集計結果が公表されたので、青森県に
関係する分を、平成 22 年国勢調査抽出速報集計結果と比較して、公表するものです。

平成 27 年国勢調査抽出速報集計結果は、平成 27 年国勢調査の全国及び都道府県結果
の早期利用を図るため、一定の方法により全世帯の約 100 分の 1 の調査票を抽出し、主
要な事項について集計したもので、抽出による標本誤差を含んでおり、後日公表される全
数集計による結果数値（確報）とは必ずしも一致しません。

また、数値は表章単位未満で四捨五入しています。

公表資料

1 人口構造

年齢別（5 歳階級）・男女別人口、年齢別割合、平均年齢

2 労働力状態

労働力状態、男女別 15 歳以上人口

3 世帯の状況

世帯の種類（2 区分）、世帯人員（10 区分）別一般世帯数、一般世帯人員、1 世帯
当たり人員、施設等の世帯数及び施設等の世帯人員（間借り・下宿などの単身者及
び会社などの独身寮の単身者）

4 常住地又は従業地・通学地による人口

常住地又は従業地・通学地（10 区分）による人口（流出人口、流入人口、昼夜間人
口比率）

5 現住地による 5 年前の常住地

現住地による 5 年前の常住地、人口

※ 詳細は、総務省統計局ホームページをごらんください。

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm>

1 人口構造

- 人口（総数）は130万8600人。男性は61万4600人、女性は69万4000人。
- 15歳未満は14万8100人で11.5パーセント、15歳～64歳は75万7400人で58.6パーセント、65歳以上は38万6200人で29.9パーセントである。
- 平成22年国勢調査抽出速報集計結果と比較すると、人口（総数）は6万4600人の減少。男性は3万900人、女性は3万3700人のそれぞれ減少となっている。15歳未満は2万3000人の減少、15歳～64歳は9万2300人の減少、65歳以上は3万5500人の増加となった。

（単位：人、歳、％）

	平成27年国勢調査抽出速報集計			平成22年国勢調査抽出速報集計			増減数(平成27年～平成22年)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数(年齢)	1,308,600	614,600	694,000	1,373,200	645,500	727,700	▲ 64,600	▲ 30,900	▲ 33,700
0～4歳	44,200	22,700	21,600	51,200	27,400	23,800	▲ 7,000	▲ 4,700	▲ 2,200
5～9歳	47,500	24,200	23,300	55,600	28,800	26,800	▲ 8,100	▲ 4,600	▲ 3,500
10～14歳	56,400	28,700	27,700	64,400	34,300	30,100	▲ 8,000	▲ 5,600	▲ 2,400
15～19歳	61,300	31,200	30,100	67,200	32,800	34,400	▲ 5,900	▲ 1,600	▲ 4,300
20～24歳	56,700	29,000	27,700	57,800	28,700	29,100	▲ 1,100	300	▲ 1,400
25～29歳	53,400	27,300	26,100	66,000	35,400	30,600	▲ 12,600	▲ 8,100	▲ 4,500
30～34歳	63,400	32,000	31,400	76,200	39,000	37,200	▲ 12,800	▲ 7,000	▲ 5,800
35～39歳	75,200	37,800	37,400	88,900	44,400	44,500	▲ 13,700	▲ 6,600	▲ 7,100
40～44歳	85,700	42,500	43,200	86,100	40,600	45,600	▲ 400	1,900	▲ 2,400
45～49歳	82,400	40,200	42,200	86,900	42,800	44,200	▲ 4,500	▲ 2,600	▲ 2,000
50～54歳	85,400	41,500	44,000	97,300	46,500	50,700	▲ 11,900	▲ 5,000	▲ 6,700
55～59歳	90,600	43,300	47,300	108,600	52,500	56,100	▲ 18,000	▲ 9,200	▲ 8,800
60～64歳	103,200	49,100	54,100	114,600	54,500	60,100	▲ 11,400	▲ 5,400	▲ 6,000
65～69歳	107,300	50,400	56,900	84,700	36,700	48,000	22,600	13,700	8,900
70～74歳	81,700	35,700	46,000	86,400	39,400	47,000	▲ 4,700	▲ 3,700	▲ 1,000
75～79歳	74,900	30,700	44,200	72,000	28,900	43,100	2,900	1,800	1,100
80～84歳	64,000	23,400	40,600	55,500	19,200	36,300	8,500	4,200	4,300
85～89歳	39,400	11,800	27,600	34,900	8,900	26,000	4,500	2,900	1,600
90～94歳	15,700	3,800	11,800	12,800	2,400	10,400	2,900	1,400	1,400
95～99歳	2,600	400	2,200	3,700	600	3,100	▲ 1,100	▲ 200	▲ 900
100歳以上	600	-	500	500	200	400	100	-	100
不詳	17,000	8,900	8,100	1,600	1,400	100	15,400	7,500	8,000
15歳未満	148,100 (11.5)	75,600 (12.5)	72,600 (10.6)	171,100	90,500	80,600	▲ 23,000	▲ 14,900	▲ 8,000
15～64歳	757,400 (58.6)	373,900 (61.7)	383,500 (55.9)	849,700	417,100	432,600	▲ 92,300	▲ 43,200	▲ 49,100
65歳以上	386,200 (29.9)	156,300 (25.8)	229,800 (33.5)	350,700	136,400	214,300	35,500	19,900	15,500
平均年齢	48.78	46.52	50.78	47.07	44.55	49.29	1.7	0.9	1.5

2 労働力の状態

- 労働力総数は114万3500人。男性は53万200人、女性は61万3300人。
労働力人口は66万300人、うち男性は36万2200人、女性は29万8100人。
就業者は62万4900人、うち男性は33万9800人、女性は28万5100人。
完全失業者は3万5400人、うち男性は2万2500人、女性は1万2900人。
非労働力人口は45万8200人、うち男性は15万4400人、女性は30万3700人。
- 平成22年国勢調査抽出速報集計結果と比較すると、
労働力総数は5万6900人の減、うち男性は2万3300人、女性は3万3600人のそれぞれ減。
労働力人口は4万6100人の減、うち男性は3万6700人、女性は9400人の減。
就業者は1万3000人の減、男性は1万3600人の減だが、女性は600人の増となっている。
完全失業者は3万3100人の減、うち男性は2万3100人、女性は1万100人の減。
非労働力人口は2万9700人の減、男性は3100人の増で、女性は3万2900人の減となった。

(単位：人)

	平成27年国勢調査抽出速報集計			平成22年国勢調査抽出速報集計			増減数(平成27-平成22)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	1,143,500	530,200	613,300	1,200,400	553,500	646,900	▲ 56,900	▲ 23,300	▲ 33,600
労働力人口	660,300	362,200	298,100	706,400	398,900	307,500	▲ 46,100	▲ 36,700	▲ 9,400
就業者	624,900	339,800	285,100	637,900	353,400	284,500	▲ 13,000	▲ 13,600	600
(就業者)主に仕事	538,100	328,800	209,300	555,900	340,500	215,400	▲ 17,800	▲ 11,700	▲ 6,100
(就業者)家事のほか仕事	71,800	4,800	67,000	70,200	6,400	63,800	1,600	▲ 1,600	3,200
(就業者)通学のかたわら仕事	5,200	1,700	3,600	4,000	1,500	2,500	1,200	200	1,100
(就業者)休業者	9,800	4,500	5,300	7,900	5,000	2,800	1,900	▲ 500	2,500
完全失業者	35,400	22,500	12,900	68,500	45,600	23,000	▲ 33,100	▲ 23,100	▲ 10,100
非労働力人口	458,200	154,400	303,700	487,900	151,300	336,600	▲ 29,700	3,100	▲ 32,900
家事	148,000	13,400	134,600	184,300	11,800	172,500	▲ 36,300	1,600	▲ 37,900
通学	65,700	33,600	32,100	68,500	33,900	34,600	▲ 2,800	▲ 300	▲ 2,500
その他	244,400	107,400	137,000	235,000	105,600	129,400	9,400	1,800	7,600
労働力状態「不詳」	25,000	13,500	11,500	6,100	3,300	2,900	18,900	10,200	8,600

3 世帯の状況

- 世帯数の総数は、50万4900世帯、世帯人員の総数は130万8600人。一般世帯の世帯数の総数は50万3300世帯。うち世帯人員1人の世帯は15万100世帯。世帯人員が2人の世帯は、14万2000世帯で5割を越える。
- 一般世帯の世帯人員は126万6200人で、一般世帯1世帯当たり人員は約2.5人となった。
- 平成22年国勢調査抽出速報集計結果と比較すると、世帯数の総数は、2600世帯の増、世帯人員の総数は6万4600人の減。
一般世帯の世帯数の総数は2100世帯の増。世帯人員が1人の世帯は1万8800世帯、世帯人員が2人の世帯は1500世帯の増、一方、世帯人員が3人から8人の世帯は1万8600世帯の減である。
- 一般世帯の世帯人員は6万9900人の減で、一般世帯1世帯当たり人員は約0.15人の減となった。

(単位：世帯、人)

	平成27年国勢調査 抽出速報集計	平成22年国勢調査 抽出速報集計	増減数 (平成27－平成22)
(総数)世帯数	504,900	502,300	2,600
(一般世帯)世帯数、総数	503,300	501,200	2,100
(一般世帯)世帯数、世帯人員が1人	150,100	131,300	18,800
(一般世帯)世帯数、世帯人員が2人	142,000	140,500	1,500
(一般世帯)世帯数、世帯人員が3人	97,100	98,200	▲ 1,100
(一般世帯)世帯数、世帯人員が4人	63,500	73,100	▲ 9,600
(一般世帯)世帯数、世帯人員が5人	28,300	28,400	▲ 100
(一般世帯)世帯数、世帯人員が6人	15,100	17,800	▲ 2,700
(一般世帯)世帯数、世帯人員が7人	4,400	8,300	▲ 3,900
(一般世帯)世帯数、世帯人員が8人	1,800	3,000	▲ 1,200
(一般世帯)世帯数、世帯人員が9人	700	400	300
(一般世帯)世帯数、世帯人員が10人以上	400	200	200
(施設等の世帯)世帯数	1,600	1,200	400
(総数)世帯人員	1,308,600	1,373,200	▲ 64,600
(一般世帯)世帯人員	1,266,200	1,336,100	▲ 69,900
(一般世帯)1世帯当たり人員	2.516	2.666	▲ 0.150
(施設等の世帯)世帯人員	42,500	37,100	5,400
(再掲)間借り・下宿などの単身者	5,200	4,200	1,000
(再掲)会社などの独身寮の単身者	4,400	3,700	700

4 常住地又は従業地・通学地による人口

- 常住地における人口（夜間人口）は130万8600人。従業地・通学地における人口（昼間人口）は130万6300人。昼夜間人口比率は99.8パーセントである。
- 従業も通学もしていない人は49万1400人。自宅で従業は11万2100人、自宅外の自市区町村で従業・通学は51万8900人、他市区町村で従業・通学は13万7800人となっている。
- 平成22年国勢調査抽出速報集計結果と比較すると、
 夜間人口は6万4600人の減、昼間人口は6万5700人の減。昼夜間人口比率は0.1パーセントの減である。
 従業も通学もしていない人は6万5400人の減。自宅で従業は1000人の増、自宅外の自市区町村で従業・通学は3万4300人の減、他市区町村で従業・通学は6500人の減となっている。

（単位：人）

	平成27年国勢調査 抽出速報集計	平成22年国勢調査 抽出速報集計	増減数 (平成27－平成22)
常住地による人口(夜間人口)	1,308,600	1,373,200	▲ 64,600
従業も通学もしていない 1)	491,400	556,800	▲ 65,400
自宅で従業	112,100	111,100	1,000
自宅外の自市区町村で従業・通学	518,900	553,200	▲ 34,300
他市区町村で従業・通学	137,800	144,300	▲ 6,500
自市内他区で従業・通学	-	-	
県内他市区町村で従業・通学	127,600	135,300	▲ 7,700
他県で従業・通学	9,800	6,900	2,900
従業・通学市区町村「不詳・外国」	500		500
従業地・通学地「不詳」 2)	48,500	7,700	40,800
従業地・通学地による人口(昼間人口) 2) 3)	1,306,300	1,372,000	▲ 65,700
うち自市内他区に常住	-	-	
うち県内他市区町村に常住	127,600	135,300	▲ 7,700
うち他県に常住	7,400	5,800	1,600
(再掲) 流出口	9,800		
(再掲) 流入人口	7,400		
(別掲) 昼夜間人口比率	99.8	99.9	

1) 労働力状態「完全失業者」、「家事」及び「その他」

2) 労働力状態「不詳」を含む。

3) 従業地・通学地「不詳・外国」で、当地に常住している者を含む。

5 現住地による5年前の常住地

- 常住者 130 万 8600 人のうち、5 年前も現住所に住んでいた人は 103 万 4600 人、現住所以外で県内にいた方は 18 万 200 人、他県からの転入は 4 万 8800 人となっている。一方、他県への転出は 5 万 6100 人。
- 平成 22 年国勢調査抽出速報集計結果と比較すると、常住者は 6 万 4600 人の減。5 年前も現住所に住んでいた人は 7 万 700 人の減、現住所以外で県内にいた方は 2 万 3400 人の減、他県からの転入は 6100 人の減となっている。一方、他県への転出は 2 万 1800 人の減。

(単位：人)

	平成27年国勢調査 抽出速報集計	平成22年国勢調査 抽出速報集計	増減数 (平成27－平成22)
常住者	1,308,600	1,373,200	▲ 64,600
現住所	1,034,600	1,105,300	▲ 70,700
自県内	180,200	203,600	▲ 23,400
自市区町村内	130,400	139,600	▲ 9,200
自市内他区	－	－	
県内他市区町村	49,800	64,000	▲ 14,200
転入	50,700	56,500	▲ 5,800
他県から	48,800	54,900	▲ 6,100
国外から	1,900	1,600	300
5年前の常住市区町村「不詳」	400		
移動状況「不詳」	42,700		
(別掲)転出(他県へ)	56,100	77,900	▲ 21,800

※空欄は調査にないものである。

【参考】速報値、抽出速報集計結果、確報値の違い

(単位：人)

	速報値	抽出速報集計結果	確報値
平成 17 年	1,436,628	1,436,600	1,436,657
	(平成 17 年 12 月)	(平成 18 年 6 月)	(平成 18 年 10 月)
平成 22 年	1,373,164	1,373,200	1,373,339
	(平成 23 年 2 月)	(平成 23 年 6 月)	(平成 23 年 10 月)
平成 27 年	1,308,649	1,308,600	—
	(平成 27 年 12 月)	(平成 28 年 6 月)	(平成 28 年 10 月)

() 内は公表年月